

環境活動レポート

2010年度
(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

(2011年8月1日作成)

倉敷国際ホテル

〒710-0046 岡山県倉敷市中央1丁目1番44号

電話 086 (422) 5141

FAX 086 (422) 5192

I 事業活動の概要

事業所名 倉敷国際ホテル

取締役社長 豊島 健二

所在地 岡山県倉敷市中央1丁目1番44号

環境管理責任者 井上 俊彦（常務取締役）

連絡先 086-422-5141

事業内容

- (1) EA21 認証・登録範囲
倉敷国際ホテル（ホテル・レストラン業）
- (2) EA21 認証・登録範囲外（「食品リサイクル法」に基づく食品関連事業所）
- ①旅館鶴形（旅館業） 岡山県倉敷市中央1丁目3番15号
 - ②川崎学園食堂（レストラン業） 岡山県倉敷市松島577番地
 - ③倉敷カントリー倶楽部食堂（レストラン業） 岡山県倉敷市二子1943番地
 - ④倉敷中央病院食堂（レストラン業） 岡山県倉敷市美和1丁目1番1号
 - ⑤亀遊亭（レストラン業） 岡山県倉敷市中央1丁目2番20号

設 立 1962年3月15日

事業の規模

		単位	2008年	2009年	2010年
売上高（全社）		百万円	1,264	1,136	1,236
従業員	全社	人	162	160	185
	（EA21 認証・登録範囲）	人	（70）	（78）	（79）
床面積（全社）		m ²	11,316	11,316	11,316

（注）全社は、食品リサイクル法に基づく食品関連事業所に該当するEA21 認証・登録範囲外の5つの支店を含む場合。

II 環境理念

会社の行動指針と経営理念

- ・行動指針：お客様に満足していただくこと、それが私たちの喜びであり誇りである。
- ・経営理念：お客様に満足していただける“良いホテル”、そこで働く社員が働きがいを感じ生き生きと仕事をしている従業員満足度の高い“良い会社”、地域社会・取引先・株主にも満足度の高い経営面で“強い会社”を目指します。

環境経営の基本理念

倉敷国際ホテルは、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル、節水の取り組みを通して環境への負荷の軽減に努め、社会に貢献します。

環境方針

1. 環境経営の基本理念に基づいて、環境経営システムを構築し、継続的な環境活動に取り組みます。
2. 二酸化炭素発生量の削減に向け、省エネ活動を推進します。
3. 一般廃棄物及び産業廃棄物を適正に管理し、廃棄物排出量の削減に取り組みます。
4. 節水に取り組み、総排水量の削減を推進します。
5. 食品廃棄物の再生利用等の実施率の向上を目指します。
6. 環境に関する法律、規則、協定を遵守します。
7. 地域との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。
8. 環境経営システムの内容を全社員に周知徹底し、環境に関する意識向上に努めます。

平成20年10月10日

株式会社倉敷国際ホテル
取締役社長 豊島 健二

Ⅲ 環境目標とその実績

(1) 環境への負荷の現状

過去3年間における、当社の総エネルギー投入量、水資源投入量、温室効果ガス排出量、総排水量は下記の通りです。

①総エネルギー投入量

単位：MJ

		2008年	2009年	2010年
購入電力		18,783,243	18,406,016	19,192,918
化石燃料	A重油	6,764,300	6,803,400	7,350,800
	都市ガス			
	天然ガス	842,030	913,366	955,991
	ガソリン	50,724	38,994	47,056
計		26,440,297	26,161,776	27,546,765

②水資源投入量

単位：m³

		2008年	2009年	2010年
上水・地下水		167,021	165,659	168,298

③温室効果ガス排出量

単位：kg-CO₂

		2008年	2009年	2010年
二酸化炭素		1,236,051	1,250,765	1,573,122

④総排水量

単位：m³

		2008年	2009年	2010年
河川・下水		169,021	165,659	168,298

⑤廃棄物等の総排出量

単位：t

		2008年	2009年	2010年
廃棄物等排出量		47.0	44.0	44.0

(2) 環境目標

下記の通り、目標を掲げて環境活動に取り組んできました。

①二酸化炭素排出量の削減

	単位	2005年	2009年	2010年	2012年
目標値 (売上高当)	実績/ 百万円	1,798	1,699	1,699	1,690
削減率		基準	5.5%削減	5.5%削減	6%削減

②総排水量の削減

	単位	2005年	2009年	2010年	2012年
目標値 (売上高当)	実績/ 百万円	325	307	306	304
削減率		基準	5.5%削減	6%削減	6.5%削減

③廃棄物の総排出量の削減

	単位	2006年	2009年	2010年	2012年
目標値 (売上高当)	実績/ 百万円	73.4	69.4	69.0	68.6
削減率		基準	5.5%削減	6%削減	6.5%削減

※廃棄物の総排出量については2006年4月までは、部署や種類・量については把握できていなかったため、2006年5月より計量を開始しました。

2006年5月より2007年3月までの11ヶ月分の実績を12ヶ月分に換算した数値を2006年の実績とし、これを基準とします。

④食品廃棄物の再生利用等実施率の向上（5つの支店を含む全社）

		2006年	2009年	2010年	2012年
実施率		基準	26%	28%	40%

※2012年は食品リサイクル法に基づき40%を目標とする。

(3) 環境活動取り組み後の実績

環境活動に取り組んだ結果は下記の通りです。

(2010年4月～2011年3月)

①二酸化炭素排出量の削減

	単位	4～3月実績	削減率
排出量 (売上高当)	実績/ 百万円	2,148	基準

※2010年度より二酸化炭素排出量の計算方法を変更したため、2010年度の実績を基準とする。

②総排水量の削減

	単位	4～3月実績	削減率
排水量 (売上高当)	実績/ 百万円	237	27.2%

③廃棄物の総排出量の削減

	単位	4～3月実績	削減率
排出量 (売上高当)	実績/ 百万円	61.8	15.8%

④食品廃棄物の量及び再生利用等の実施率（5つの支店を含む全社）

食品廃棄物の量	再生利用等の量	実施率
55.2 t	16.6 t	26.1%

IV 環境活動の内容

ホテルという業種のため、お客様へのサービス品質を落とすことなく、以前から環境活動に取り組んできましたが、2006年5月よりエコアクション21を導入することにより、さらに環境活動を強化しています。

1. 従来から取り組んでいること

- ・ 節水熱管理システム「ジョイナー」の導入（導入済）
- ・ 各所に節水キットの取り付け（設置済）
- ・ こまめに蛇口を閉める
- ・ 通い箱利用の促進
- ・ 封筒等の再利用
- ・ 客室で使用したトイレットペーパーの残りを従業員トイレ等で使用
- ・ 客室にあるシャンプー・ボディソープは使い捨てではなく、ディスペンサー式のものを使用
- ・ トナーカートリッジはリサイクル品を使用
- ・ エコマーク商品を優先的に購入
- ・ 無駄な照明は点けないように気をつける
- ・ 地産地消の促進

2. エコアクション21導入にあたって新たに始めたこと

- ・ ザルを用いて生ゴミの水分を切って廃棄することにより廃棄物の量を減らす
(2006年5月より実施し継続中)
- ・ コピー用紙に再生紙を使用 (2006年5月より実施し継続中)
- ・ 名刺の印刷用紙に再生紙を使用
- ・ ゴミステーションに仕切りを設置し、分別をしやすくした (2006年5月に設置)
- ・ 環境方針や環境活動を全社員に周知及び環境教育を実施 (2006年4月に実施)
- ・ ロビーで使用するコースターを使い捨ての紙製のものから、再利用できる布製のものに替える。
- ・ 宴会や婚礼で使用する箸の一部を袋無しのタイプの箸に替える。
- ・ 宴会で使用する箸の一部を洗い替えのできる箸に替える。
- ・ 廃棄物を極力出さないような食材の利用。
- ・ 食べ残しが出ないように調理する量のきめ細かな管理。
- ・ 社内メールを使つてのペーパーレス化。(支店も含め全社で実施)

3. 今後、中長期的に行うこと

- ・ 名刺だけではなくパンフレット等の印刷物にも再生紙の利用
- ・ 使用済用紙の裏面の利用、両面印刷をさらに徹底する
- ・ 食品廃棄物再生利用実施率向上に向けての対応

V 主要な環境活動計画の内容

①二酸化炭素排出量の削減

- ・節水熱管理システム「ジョイナー」の導入（導入済）

②総排水量の削減

- ・節水熱管理システム「ジョイナー」の導入（導入済）
- ・各所に節水キットの取り付け（設置済）

③廃棄物の総排出量の削減

- ・ザルを用いて生ゴミの水分を切って廃棄することにより廃棄物の量を減らす
(2006年5月より実施し継続中)
- ・使用済み用紙の裏面の利用、両面印刷を徹底する
- ・通い箱利用の促進
- ・使用済み封筒等の再利用
- ・無駄のない食材の利用
- ・コースターを使い捨ての紙製のものから、布製のものに変える
- ・宴会や婚礼で使用する箸の一部を袋無しのタイプ又は洗い替えの出来る箸に替える
- ・社内メールを利用してペーパーレス化に取り組む

④食品廃棄物の再生利用等の実施率の向上

- ・廃棄物を極力出さないような食材の利用
- ・食べ残しが出ないように調理する量のきめ細かな管理

⑤グリーン購入の随意時切り替え

- ・コピー用紙に再生紙を使用（2006年5月より実施し継続中）
- ・エコマーク商品を優先的に購入
- ・名刺の印刷用紙に再生紙を使用（2006年5月より実施し継続中）
- ・トナーカートリッジはリサイクル品を使用

⑥その他

- ・環境方針や環境活動を全社員に周知や環境教育を実施（2006年4月に実施）
- ・ゴミステーションに仕切りを設置し、分別をしやすくした（2006年5月に設置）

VI 環境活動の取組の結果の評価

今回エコアクション21の導入にあたり、2010年4月より2011年3月まで様々な環境活動に取り組んできた結果は次の通りです。

1. 二酸化炭素排出量の削減

2010年度より二酸化炭素排出量の計算方法が変更となったために、目標と比較することができませんでしたので、2010年度の実績を今後は基準値として2011年度以降新たに目標を立てて環境活動に取り組んでいきます。

2. 総排水量の削減

2010年度の実績数値も昨年に引き続き目標を大幅に上回る削減率になりました。時期的・気候的要因などが考えられますが、今年度も目標達成を目指します。

3. 廃棄物の排出量の削減

今年度も各部署で廃棄物の削減に取り組んだ結果、2010年度の実績も目標を上回る数値となりました。今後も引き続き目標達成に向けて廃棄物の削減に取り組みます。2007年度より「食品リサイクル法」への対応を開始しましたが、2010年度の実績は2009年度を上回りましたが、目標数値には今一步届きませんでした。2011年度は目標を達成できるように、食品廃棄物再生利用等の実施率向上を目指します。

全体の評価としましては、2010年度は二酸化炭素排出量削減を除き、総排水量及び廃棄物の排出量削減は目標数値を上回りましたが、食品廃棄物再生利用等の実施率は目標を下回りました。

VII 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

関係機関等から特に指導もなく、また、訴訟等の問題もありませんでした。